

## ARCHTECTURE REVIEW



## 建築見て歩記 その32

富士宮市にある「富士山世界遺産センター」で、公開コンペで選ばれた坂茂氏の設計により、2018年に開館しました。木材を編んだような外観は「逆さ富士」状で、アプローチ沿いに設けた水盤に映り込み、正しい「富士型」が現れます。内部は、らせん状の通路を巡って展示ブースを回って行きます。山梨県にも、同名の施設があるのでややこしいですが…

## CURRENTLY WORKS



## クリニックのロードサイドサイン

業界的には「野立て看板」と呼ばれるサインですが、広告規制が厳しい医療業界では、有効な媒体です。従来は、場所の案内が主目的でしたが最近では、地域への認知度の向上に加えて、ドクター自身をアピールし親近感や安心感を意図したサインが増えています。当社では、まわりのサインに埋没せず、場所ごとに訴求力の高いデザインを提案しています。

## PRIVATE TOPICS



## 岡本の「3月に思うこと」

近所の庭先に、梅の花を見つけ、春の訪れを感じました。それに続き桜…昔から当たり前のように繰り返され、不変に思われる素晴らしい自然が人間の手によって少しずつ崩れていくのかと思うと怖く感じます。また東日本大震災を思い出す時期…やはり、自然にはかなわないと感じます。変わってしまう自然と、かなわない自然。人間の力は大きい？小さい？

## EDITIONAL NOTE

3月は「弥生」…この語源は「本草弥や生ひ月（きはなひやおいづき）」で間違いのないと言われています。他には「花月（かげつ）」「春惜月」「花見月」「夢見月」「桜月」「桃月」など、春の雰囲気満ちています。「MARCH」は、ローマ神話の「MARS」から…ローマ暦では最初の月で、年末に閏年調整をしたようです。

編集担当：太田・藤原